

芳川越 純 小説家、美術評論家。明治二十八年十月長崎縣大村生
れ、昭和二十六年七月九日没（八九五―一九五二）。初の雑誌『女の世界』
記者。『ち美術春秋社』を興し、『美術春秋』を發刊。

著書に『戀の前科者』（大正九年九月十五日文明堂書店）、『大凡蓮
如』（大正十三年一月二十五日）（松堂書店）、『觀音』（大正十三年
六月十五日）（松堂書店）、戯曲『南蠻女怪記』（原作、豊田豊脚色、
再版・昭和七年十一月二十五日）（松堂書店）、『蓮如上人』（再版・
昭和九年七月二十日浩文社）、『金鳩桂華』（神崎憲一共著、昭和十
八年四月五日美術春秋社「現代日本畫家評傳」）、『長流畫塾』（高

木紀重共編、昭和十七年二月）二十日國民美術研究所「畫塾叢書」）、

『勤儉 安田善次郎』（昭和十八年十一月十五日先生書店）、『玉堂先
生を描く』（編、昭和二十四年一月）二十日美術出版社）、『古徑先生
の肖像』（編、昭和二十六年六月十日）二十日城書店）等。

